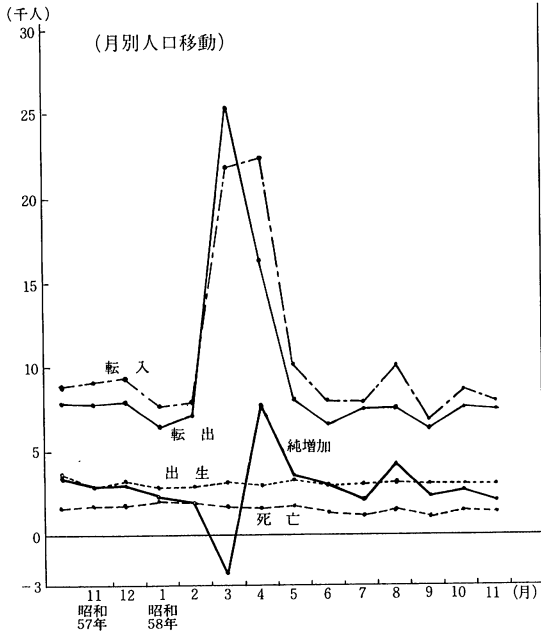


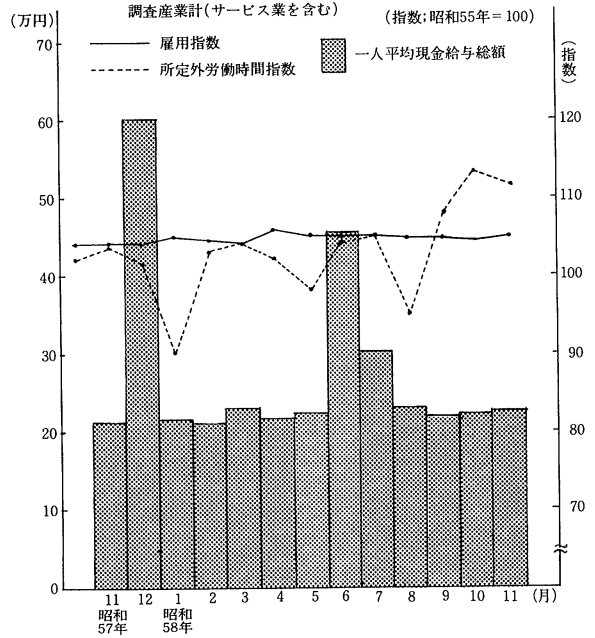
●今月の主な動き

今月の主な動き

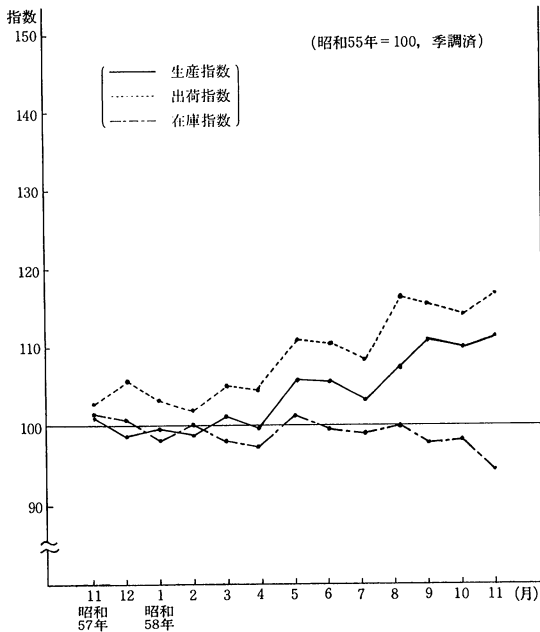
人 口



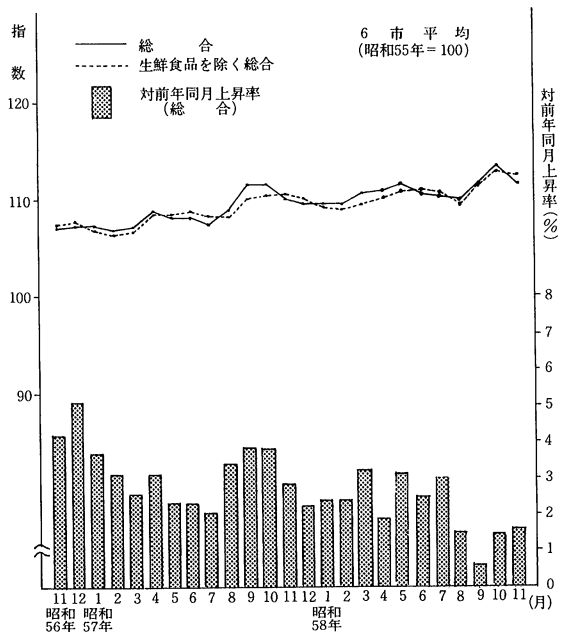
賃金・労働時間・雇用



鉱工業指数(生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (12月1日)

本県の人口は、11月中に2,075人増加し、2,669,853人となった。昨年12月1日と比較すると31,573人(1.20%)の増加である。今月も人口増加の鈍化傾向が続いている。

内訳は、自然動態で1,466人(出生2,933人、死亡1,467人)、社会動態では609人(転入7,921人、転出7,312人)の

増加である。

市町村別では、増加13市53町村、減少5市19町村、増減なし2村である。

世帯数は737世帯増加し、739,054世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (11月)

1. 平均賃金の推移

11月の常用労働者(「調査産業計」サービス業を含む。)1人1ヵ月平均現金給与総額は215,099円で、前月に比べ0.1%増(前年同月比2.9%増)であった。

このうちきまって支給する給与は213,826円で、前月に比べ0.6%増(前年同月比3.2%増)であり、特別に支払われた給与は1,273円で、前月に比べ1,082円減であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は179.1時間で、前月に比べ0.7%増(前

年同月比0.3%減)であった。

このうち所定内労働時間数は161.8時間で、前月に比べ0.9%増(前年同月比1.1%減)であり、所定外労働時間数は17.3時間で、前月に比べ1.2%減(前年同月比7.4%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和55年=100)によってみると、105.2で、前月に比べ0.3ポイント増、前年同月に比べ0.9ポイント増であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉(11月)

昭和58年11月の本県の「鉱工業指数」(昭和55年=100)は、季節調整済指数で、生産が110.7、出荷が117.1、在庫が94.5で、前月比は、生産が0.8%、出荷が2.9%上昇、在庫が△3.4%低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が9.8%、出荷が14.0%上昇、在庫が△6.7%の低下であった。

生産を業種別にみると、精密機械、食料品・たばこ、石油・石炭製品等が上昇し、鉱業、電気機械、一般機械等が低下した。

出荷を業種別にみると、食料品・たばこ、精密機械、化学

等が上昇し、一般機械、金属製品、電気機械等が低下した。

在庫を業種別にみると、パルプ・紙・紙加工品、石油・石炭製品、鉱業等が上昇し、食料品・たばこ、輸送機械、電気機械等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、その他用生産財、非耐久消費財等が上昇し、資本財、耐久消費財等が低下した。出荷では、非耐久消費財、その他用生産財等が上昇し、資本財等が低下した。在庫では、その他用生産財、資本財等が上昇し、非耐久消費財、耐久消費財等が低下した。

■ 消費者物価指数(11月) 一対前月比(一)1.1%の下落、対前年同月比(十)1.6%の上昇一

昭和58年11月の茨城県消費者物価指数は、昭和55年を100とした総合指数で111.9となり、前月に比べ(-)1.1%の下落、前年同月に比べると(+)1.6%の上昇となっている。

今月上がった主な項目……医薬品(+)5.5%、酒類(+)1.4%、履き物類(+)0.8%

今月下がった主な項目……果物(-)35.9%(うち生鮮果物

(-)36.9%、野菜・海草(-)7.6%

費目別指数(55年=100)

1 食料は	111.1	6 保健医療は	107.8
2 住居は	112.4	7 交通通信は	107.1
3 光熱・水道は	108.8	8 教育は	127.6
4 家具・家事用品は	105.1	9 教養娯楽は	113.3
5 被服及び履き物は	118.6	10 諸雑費は	112.4